

奨励賞

○設計者

菅 順二・帽田秀樹 木村哲也

●東京建築士会 ●(株)竹中工務店 設計部



(左より、菅、帽田、木村)

○事務所

スカパー東京メディアセンター

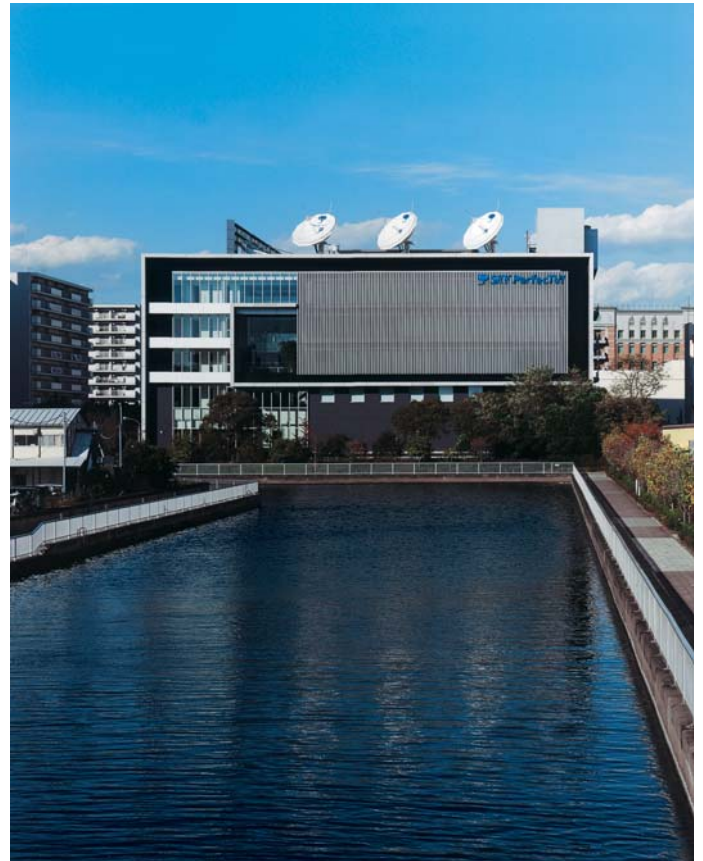
●東京都江東区新砂

▶▶▶ 選評

この建築は、衛星放送用の施設として、建築主・スカパーJSATが放送データを赤道上の静止衛星に送信するために建設されたものである。放送データ機器室、スタジオ、事務室の3つのブロックから構成され、ブロックごとに外装材を変えて変化のあるファサードを構成すると同時に、PCコンクリートの大庇でそれを包み込んで統一感を出している。

敷地は、南北に走る運河が西へ直角に曲がる角に面しているという特徴的な位置にあり、それを反映して、運河の護岸が庇のラインにつながっていくようにデザインされている。「運河との空間的な関係」はこの建物の基本コンセプトであり、南側の運河と一体になる形で1階から天空へ抜けるアトリウムが建物の中央を南北に貫き、ここから見上げれば、送信用パラボラアンテナを望むことができる。人々は、パラボラの先に遥かな宇宙衛星へと思いをはせることになる。アトリウム内部では、周囲の風景を映し出しながら変化する光が、時の移り変わりを贅沢に味わえるように意図されており、水面や緑の生む光と影の効果は高級な美術品のように美しい。建物用途の特殊性を生かし、周辺地域との適切な空間関係をつくりだした建築として高く評価したい。

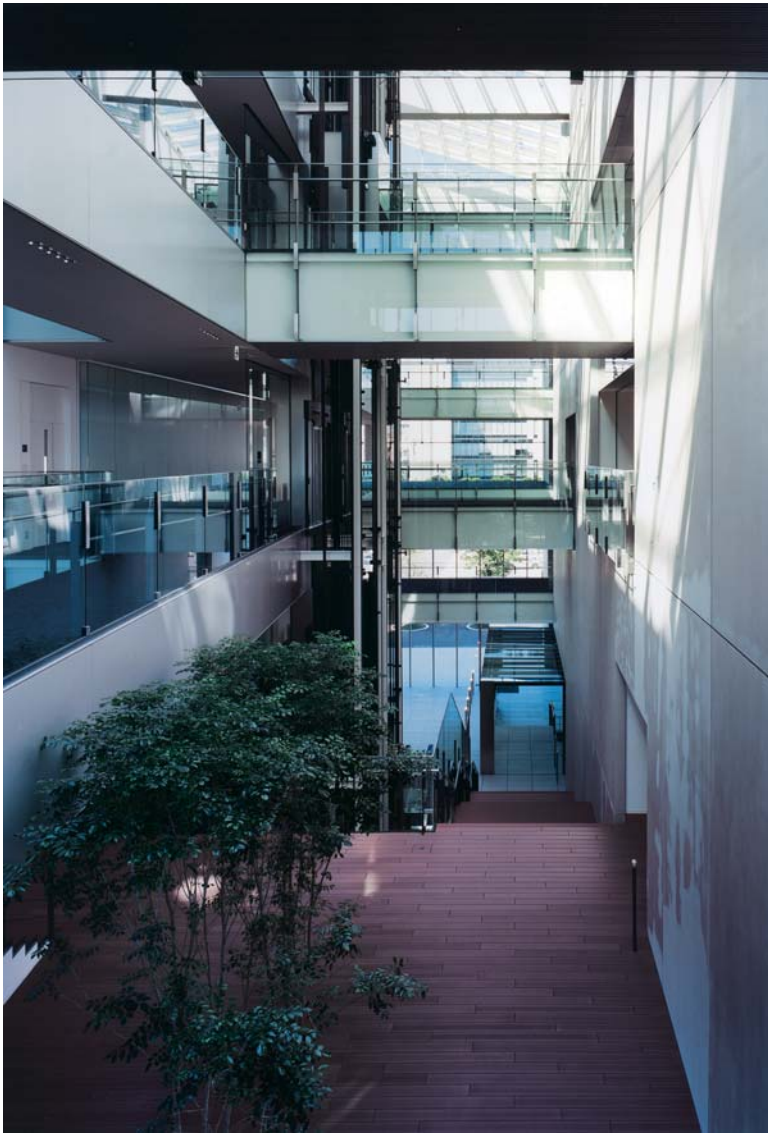
(松川淳子)



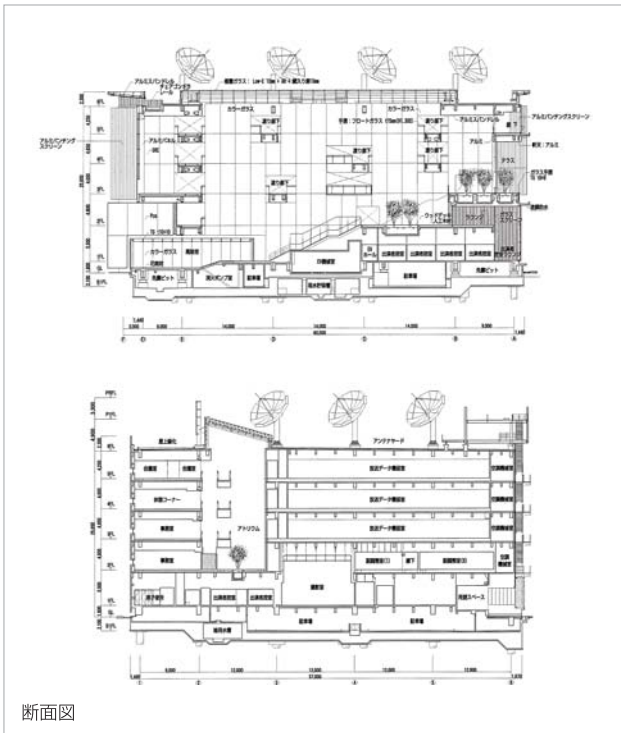
A



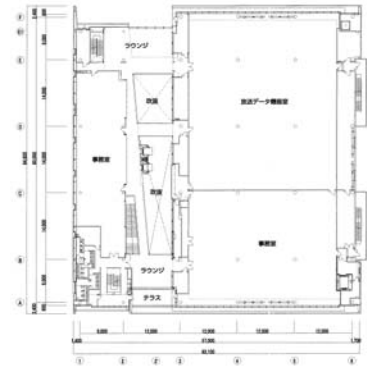
B



C



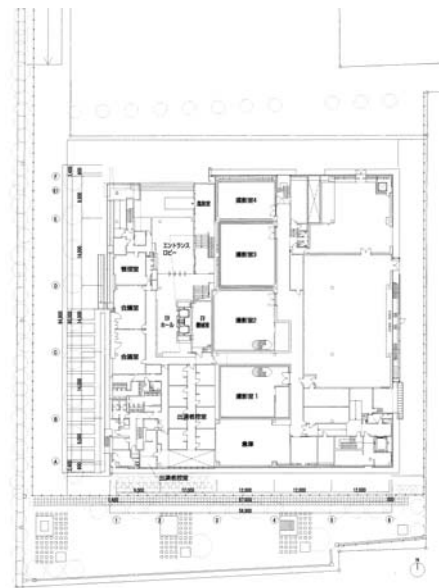
断面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

- A: 南側外観
- B: 南側曙北運河を見る
- C: 1階エントランスロビーを見る

写真撮影: 小川泰祐

- 構造・階数: 鉄骨造、地上6階建、地下1階、屋上1階
- 敷地面積: 8,264.55㎡
- 建築面積: 3,951.58㎡
- 延床面積: 17,579.86㎡
- 竣工: 2008年7月31日